

日本共産党

福山市議会だより

高木たけし・みよし剛史の
議会質問をお知らせします。

2023年秋冬号
議会報告

物価高騰で大変!!

暮らしを守る政治を!

日本共産党
緊急提案



保育士の配置改善に 一歩前進

復職保育士に支援金

今年10月以降に福山市内の保育所・認定こども園・地域型保育事業所などで働き始めた方に福山市から応援金が支給されます。

- (1) 常勤職員：200,000円
 - (2) 非常勤職員：100,000円
 - (3) 転入加算給付：200,000円
(備後圏域からの転入者を除く)
- ※給付を受けるには条件があります。
詳しくはコチラ→

福山市 保育士応援金



問 福山市保育施設課 084-928-1140

奨学金返済制度を導入する 事業者を応援

補助金 最大36万円

補助対象者：新たに奨学金返済支援制度を導入する中小企業、NPO法人、社会福祉法人等（今年度から対象が拡大）
補助率：1/3 補助額：36万円/社
従業員1人あたり6万円まで
※広島県『中小企業等奨学金返済支援制度導入応援補助金』の併用も可能。

問 福山市産業振興課 084-928-1040

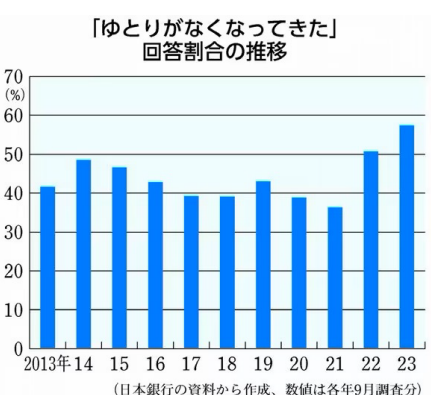
日本共産党 福山市議団



高木たけし
TEL 084-972-6830



みよし剛史
TEL 090-1182-3973



今年の9月で全国消費者物価が前年同月を上回るのは25カ月連続です。日本銀行の調査で、暮らしに「ゆとりがなくなってきた」の回答が57%、その理由は「物価が上がったから」が88%です。

25カ月連続上昇! 止まらぬ物価高

物価高なのに インボイス 実質的な増税

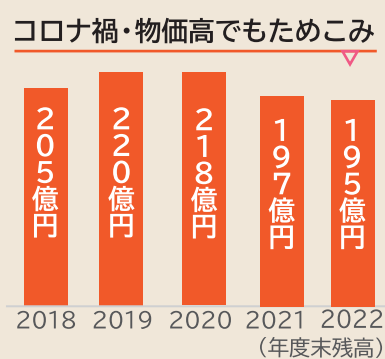
中小業者も仕入れの高騰で苦境が続ぎ、物価高倒産が前年度比2.4倍に増加しています。その中で10月から導入が強行されたインボイス制度は、これまで消費税の納税が免除されてきた年間売上1000万円以下の小規模事業者に、課税業者への転換を迫るものです。財務省の試算でも免税業者が課税業者になった場合平均で15万円もの消費税負担が生じます。

日本共産党の要求
① 消費税の緊急減税
② ケア労働者処遇改善
③ 中小業者支援強化

日本共産党市議団は、緊急に消費税を5%に減税し、少なくともインボイスは中止するよう国に要望することを求めました。また、市独自にケア労働者の低い処遇の改善や、中小業者の固定費補助を行うよう繰り返し要求しています。とどまることのない物価高騰から、暮らしと営業を政治の責任で守ることが求められています。

ためこみ金195億円

財政調整基金の推移



基金総額 一般会計の黒字

508億円 47億円
(2022年度実質収支)

福山市は、何にでも使える「財政調整基金」がほとんど減っていません。他の基金の総額も500億円を超えました。毎年の収支も黒字です。物価高の今こそ、市民の生活・生業を守るために豊かな財政をさらに活用するべきです。

お金はある

市民の声に答える議会に 市民の請願 すべて否決

総務委員会の討論・表決結果 (議会請願関連)

議案	会派	水曜会	公明党	誠友会	市民連合	日本共産党
請願2号 旧福山市体育館の保存活用に関する要望について		×	×	×	×	○
請願3号 旧内海小学校の施設を残し利活用を求める要望について		×	×	×	×	○
請願5号 インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める要望について		×	×	×	○	○

文教経済委員会の討論・表決結果 (議会請願関連)

議案	会派	水曜会	公明党	誠友会	新政クラブ	日本共産党
請願4号 旧内海小学校の施設を残し利活用を求める要望について		×	×	×	×	○

9月議会には3つの議会請願が提出されました。福山市政が住民本位の施策を行っているかを問うもの、国に切実な要求を訴えるもので、重要な市民の声です。各請願は常任委員会で審議され、いずれの請願も日本共産党市議団は賛成しましたが、否決多数により不採択となりました。表決の際には賛否の判断を示すための討論もせず、反対を表明する会派がありません。市民の声に答え、議論を尽くし、行政に投げかけるこそ議会の役割のほうです。



内海小学校の施設を残し利活用を求める会が議会請願を提出=8月24日

8月、旧内海小学校の施設を残し有効活用を求める会から、旧内海小学校の調理場・運動場等の利活用を求める請願書が、578筆の署名とともに提出されました。

内海小学校は大規模な学校統廃合によって昨年閉校しましたが、かつては3校あった横島の学校は完全に姿を消してしまうことから、地元住民から施設の保存と活用の要望が

根強く上がっていました。しかし、市は9月議会に校舎の解体工事の契約案件を上程しました。住民合意を軽視した強引な進め方であり、日本共産党は請願の紹介者とな

578筆の住民の願い 旧内海小学校の活用を

9月議会を前に、福山民商から議長あての「インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める請願書」

が提出されました。請願書では、事実上消費税の増税であるインボイス制度の導入は、小規模事業者の経営悪化に、さらに追い打ちをかける可能性があるものの、制度があまりに知られていない事を指摘し、国に実施延期の意見書を提出するよう求めています。

日本共産党は一般質問において、小規模事業者は、現状でも正当な利益が確保できるような適正価格を求めにくい状況にあることから、制度導入後、免税業者が取引価格を引き下げるように迫られる可能性を指摘しました。

その上で、このようなケースは独占禁止法や下請法に抵触するため、市としての対応を質しました。市長は、「法に抵触する相談があった場合には、速やかに関係機関につなぐ」と答えました。地域経済を支える中小業者を守るためにも、実態調査が今後必要です。



福山民主商工会から議会に意見書提出を求める=8月31日

インボイスは中止を!

不当な取引許さない 丁寧な実態調査を

日本共産党は一般質問において、小規模事業者は、現状でも正当な利益が確保できるような適正価格を求めにくい状況にあることから、制度導入後、免税業者が取引価格を引き下げるように迫られる可能性を指摘しました。

その上で、このようなケースは独占禁止法や下請法に抵触するため、市としての対応を質しました。市長は、「法に抵触する相談があった場合には、速やかに関係機関につなぐ」と答えました。

地域経済を支える中小業者を守るためにも、実態調査が今後必要です。

各請願は常任委員会で審議され、いずれの請願も日本共産党市議団は賛成しましたが、否決多数により不採択となりました。

表決の際には賛否の判断を示すための討論もせず、反対を表明する会派がありません。市民の声に答え、議論を尽くし、行政に投げかけるこそ議会の役割のほうです。

日本共産党 福山市議団

TEL 084-952-2662 mail info@f-jcp.com
FAX 084-952-2660 HP www.f-jcp.com

